

数学序論に対する追加説明 #13

- 演習問題 5.5 (3) について解説する。

$$\sqrt[3]{n^2} \left(\sqrt[3]{n+1} - \sqrt[3]{n} \right)$$

の極限を求める問題であるがどう「無理化」するかが問題である。

$$(x+y)(x-y) = x^2 - y^2$$

を用いてもうまくいかない。3乗根を消すためには3乗をつくる必要がある。

$$x^3 - y^3 = (x-y)(x^2 + xy + y^2)$$

を用いる。

$$\begin{aligned} \sqrt[3]{n^2} \left(\sqrt[3]{n+1} - \sqrt[3]{n} \right) &= \frac{\sqrt[3]{n^2} \left(\sqrt[3]{n+1} - \sqrt[3]{n} \right) \left(\sqrt[3]{(n+1)^2} + \sqrt[3]{n+1}\sqrt[3]{n} + \sqrt[3]{n^2} \right)}{\sqrt[3]{(n+1)^2} + \sqrt[3]{n+1}\sqrt[3]{n} + \sqrt[3]{n^2}} \\ &= \frac{\sqrt[3]{n^2} (n+1-n)}{\sqrt[3]{(n+1)^2} + \sqrt[3]{n+1}\sqrt[3]{n} + \sqrt[3]{n^2}} \\ &= \frac{1}{\sqrt[3]{\left(1 + \frac{1}{n}\right)^2} + \sqrt[3]{1 + \frac{1}{n}} + 1} \end{aligned}$$

よって

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[3]{n^2} \left(\sqrt[3]{n+1} - \sqrt[3]{n} \right) = \frac{1}{3}$$

- 演習問題 5.4 について解説する。

(1) の結果は $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n}{2^n} = 0$ である。

この結果から「 2^n の増大度が n より大きい」ことが分かるので、「 2^n の増大度が n より大きいので 0 になる」という証明は正しくない。

- 極限值が 0 であることを示すには次のような $f(n)$ を見つければよい。

$$0 < \frac{n}{2^n} < \frac{n}{f(n)}, \quad \frac{n}{f(n)} \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty) \quad (1)$$

- $f(n)$ が次を満たすとき (1) が満たされる。

$$f(n) < 2^n, \quad f(n) \text{ は } 2 \text{ 次以上の多項式}$$

- 2項定理を用いて $f(n)$ を見つける。

$${}_n C_k = \frac{n!}{k!(n-k)!} = \frac{n(n-1)(n-2)\cdots(n-k+1)}{k!}$$

なので ${}_n C_k$ は n の k 次式になっていることに注意する。

$$\begin{aligned} 2^n &= (1+1)^n = \sum_{k=0}^n {}_n C_k 1^k = \sum_{k=0}^n {}_n C_k \geq \sum_{k=0}^2 {}_n C_k \\ &= {}_n C_0 + {}_n C_1 + {}_n C_2 \geq {}_n C_2 = \frac{1}{2}n(n-1) \end{aligned}$$

より

$$f(n) = \frac{1}{2}n(n-1)$$

とおくと

$$0 < \frac{n}{2^n} < \frac{2n}{n(n-1)}$$

となるが,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2n}{n(n-1)} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2 \frac{1}{n}}{\left(1 - \frac{1}{n}\right)} = \frac{2 \cdot 0}{1} = 0$$

となり示される。

- 必要な次数の多項式を見つければ演習問題 5.4 の他の問題も同様にできる。
- (3) は多項式 $f(n)$ で

$$f(n) < 2^n, \quad f(n) \text{ は } 4 \text{ 次以上の多項式}$$

となるものを見つければよい。これが見つかれば

$$0 < \frac{n^3}{2^n} < \frac{n^3}{f(n)}, \quad \frac{n^3}{f(n)} \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty)$$

となりはさみうちの定理より結論が得られる。

- 前と同様に

$$\begin{aligned} 2^n &= (1+1)^n = \sum_{k=0}^n {}_n C_k \geq \sum_{k=0}^4 {}_n C_k \geq {}_n C_4 \\ &= \frac{n(n-1)(n-2)(n-3)}{4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1} = \frac{n(n-1)(n-2)(n-3)}{24} \end{aligned}$$

より

$$0 < \frac{n^3}{2^n} < \frac{24n^3}{n(n-1)(n-2)(n-3)}$$

となる。

$$\begin{aligned} \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{24n^3}{n(n-1)(n-2)(n-3)} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{24 \frac{1}{n}}{\left(1 - \frac{1}{n}\right) \left(1 - \frac{2}{n}\right) \left(1 - \frac{3}{n}\right)} \\ &= 0 \end{aligned}$$

より

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n^3}{2^n} = 0$$

となる。